

S0-006

会場 : C102

時間 : 6月4日 15:15-15:30

電磁気トモグラフィーによるコア-マントル境界近傍の動的構造の探査

Investigation on the dynamical structure in the region of core-mantle boundary by using the method of EM tomography

浜野 洋三[1]

Yozo Hamano[1]

[1] 東大・理・地球惑星物理

[1] Dept. Earth & Planetary Physics, Univ. of Tokyo

コア-マントル境界近傍の3次元電磁気不均質構造を探査するための新しい方法について報告する。この方法では、水平方向に不均質な球の内部での誘導方程式を時間軸上で解くことによって、内部起源及び外部起源の磁場変動に対する時間応答関数を計算する。従来のグローバルな電磁気構造を調べる方法はほとんどが、周波数軸上で応答関数を求めているが、時間軸上での応答を調べることは、コア起源の磁場変動を用いて下部マントルの電磁気構造を知るための有効な方法であることを示す。